

ガス給湯器の凍結への対処方法について

急激な気温の低下により、ガス給湯器の屋外に露出している配管が凍結し、一時的にご使用できなくなる場合があります。

ガス給湯器の凍結予防方法と凍結した場合の対処方法についてお知らせします。

●ガス給湯器の凍結予防方法

急激な気温の低下が予想される時には、以下の手順で凍結防止を図って下さい。

手順1：ガス給湯器のリモコンの運転スイッチを「オフ」にして下さい。

リモコンがない場合は、ガス給湯器のガス栓をしっかりと閉めて下さい。

(電源コードは抜かないで下さい)

手順2：お湯が出る蛇口から1分間に約400ml以上の水(水の幅：約4mm)を流し続けて下さい。この水は、浴槽等で受けると経済的です。

●ガス給湯器が凍結した場合の対処方法

配管が凍結した場合は、基本的には気温の上昇によって自然に解凍するまでお待ち下さい。お急ぎの場合には、以下の手順で凍結箇所を解凍して下さい。

手順1：ガス給湯器のリモコンの運転スイッチを「オフ」にして下さい。

リモコンがない場合は、ガス給湯器のガス栓をしっかりと閉めて下さい。

手順2：お湯が出る蛇口を少し開けて下さい。

手順3：内部が凍結している配管・給水元栓のまわりにタオル等を巻き、タオルにぬるま湯(40℃～50℃)をゆっくりかけて下さい※(熱湯は配管類が破裂する可能性が高いため、おやめください)。

あるいは、凍結箇所にドライヤーの温風を当て、ゆっくりと解凍して下さい。

※ ぬるま湯をかける際は、付近の電源コードやコンセントにかからないようご注意ください。

手順4：水が流れるようになったら、「手順2」で開けた蛇口を閉めて下さい。

手順5：タオルを外し、配管類のまわりについた水分を乾いた布でふき取って下さい。

【給湯器の一例】

